

神奈川大学の交換留学生

交換留学学生として約年間50人の留学生を受け入れている。外国語学部多くの学生は留学生と交流したいという気持ちがあることだろうと思う。しかし、実際に彼らと交流を持っている学生は少ない。その原因は彼らに関する情報を得やすい環境がないことだと考えられる。多くの神大生が留学生と交流することはお互いにとって非常に有益なことであるといい、多くの学生に留学生のことを知ってもらう意図で1人の留学生にインタビューに協力してもらった。

彼の紹介からこの記事を始めたい。

マチエック・スオヴィンスキーさん



ポーランド出身。ケンブリッジ、オックスフォードに次ぐイギリスの名門、マンチェスター大学の3年生。アニメから日本語に興味を持ち大学で日本語を専攻するに至った。

日本語が非常に堪能で、日本語クラスの授業では1番ハイレベルなクラスを受講している。

1日のスケジュール

平日

10時起床。2限・3限を受け。その後は友達と遊んだり、飲みに行ったり。

休日

12時起床。友達と遊んだり飲みに行ったり。

留学生から見た神奈川大学の良い点

国際センターというものがあて多くの留学生や日本人学生が来てそこで交流を図ることができること、とマチエックは述べた。

彼らにとって遠い異国の地である日本に在ることの孤独感是我々の想像を絶することだろう。しかし、このような施設があることで他の国、他の大学出身の留学生と仲良くなることができ、物事の見方も大きく広がるだろう。

授業面でも自分に合った日本語のレベルのクラスを自分で履修できることに満足しているらしい。さらに、欠席が3回まで許されていることを上手く利用し旅行に行くなど、自分の時間にあてているようだ。

留学生から見た神奈川大学の悪い点

悪い点に関しては部活やサークル活動などの広告があまりみられないことについて述べていた。彼らは9月に日本へやってきたから日本でのサークルや部活の勧誘、新入生歓迎会は既に終了している。何をすることも日本語、まして自分たちの好きなことを通して日本語を使う機会を得ることができる部活、サークル活動の広告が留学生向けにないのは不親切なことだ

外国語学部 英語英文学科 3年 鈴木 航平

と私も思った。これは留学生だけに不利益な話ではない。我々、日本人学生にとっても非常にもつたいない話だ。なぜなら、留学生からは日本人とは全く違う意見や、物の見方を学べる場合が多いし、何よりも国と国を超えた交友関係を結ぶことができるのは素晴らしいことだと思うからだ。この「友達」というものに対してもマチエックは述べてくれた。「人にもよるけれど、日本人は仲良くなるまでに大変長いプロセスを経なければならぬ。そして多くの人は留学生たちとその長いプロセスを共にすることを好まない」彼はそう述べた。この記事を読んでいる、交友関係を国外まで広げたいと願う学生に伝えたい。留学生はいつでも日本の友達を歓迎する準備ができています。

マチエックが伝えたいこと

以下の文章はインタビューが終わった後に彼が送ってくれた文章だ。その力強さ、思いに私は圧倒されてしまった。そんな彼の言葉をそのまま載せた。

とにかく、これは最初から思ってたけどさ、「一体なぜ神大の日本人の学生が留学生の存在を全く生かしていないの？」ってね。そうだった「生かし」は色々な意味で捉えるといい。第一のは「一体なぜ神大の日本人の学生が留学生の存在を自分の英語能力を高めるため生かしていないの」ってよ。せっかく英語に優れている外国人の学生、それも時々神大の先生よりうまい英語をしゃべれる学生、が来たのに、一体なぜそれを生かさない？英語能力を高めるのに興味がない人がいるのはもちろんだが、そう行ったら興味があるが留学生と交流せず、図書館で5時間語彙のリストなどの意味のない真似をやっている学生がよく見かける。5時間か？10枚のリストかよ？誰がそんなもんを覚えられ

るか？！外へ出て、現実に向け、実際の外国人と話せだつて見るよ。神大っていうのは神大生にたかっているんだろう、神大生のため存在してるんでしょ。だから留学制度そのものも他の大学のため作られたわけではなく、神大を責める神大生のため作られたんだよ。結構長い話になったが、ここまでとは言語の問題のことだったね。第二のは文化のことだ。少し文章で説明しにくいけど、まーとにかく、俺はね、日本に来て、文化がどれほど違うかすぐ気づいたよ。デートのやり方を始め（人の前はキスとかはしないこと）、科目制度（テスト上評価ではなく、ちゃんと授業くれば合格という出席制度だ）、寮のルール（男子・女子別々）、バイト（先輩後輩の区別）も結構違う。正直にいうとそういう違いは個人的に好きじゃない。人の前キスできない？デートとは呼べないでしょう。出席はどうでもいいでしょう、試験で何を勉強したのを見せることだ。先輩後輩関係？父ちゃんと母ちゃんが1年早くやったのはそんなに素晴らしい？

こういうことが好きじゃないのにちゃんと受け取って行ってるよ。そういう現実を受け入れて、あえてできるだけ経験したいよ。なぜなら、俺が育てられた環境の正反対を経験して、俺の限られた視点を広めることができる。

失えるものはない、得るものだけだ。 There is nothing to lose; I can only gain by exposing myself to such a different culture.

だからこそ、文句いちゃい言わず、日本人向けの授業を受けた、日本的な飲み会行く、日本の寮での日本のルールを守ってる（女の子を持ち帰らずとか）、日本でのバイトを探してるのだ。

これを読んで私は打ちのめされた。彼は自分の置か

れた環境に不平を並べ現実から目を背けるのではなく、そこからすら何かを得ようと懸命に努力している。そんな彼から情熱と大きなエネルギーを感じた。私は留学生が皆、彼のように情熱を持った人間なのだろうと思つた。そうでなければ遠く離れた外国からわざわざ日本へは来ないだろう。そして、その情熱こそ我々多くの日本人学生に足りないものだと感じた。大きな教室で授業を受けていると無気力にスマホをいじりながら授業を聞いている学生の姿をよく目にする。どんな環境、どんなつまらない授業でも自分の血肉にしようと思命になる彼を見て、どんな環境でもものにするかしかない、結局は自分次第なのだなと思つた。

この記事が留学生を取り巻く環境をより良くすることに寄与できれば幸いです。

最後にインタビューに協力してくれたマチエックに感謝します。

